

中学生が海外研修へ出発

◎鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修事業

青少年を海外に派遣し、国際的な視野を広げるとともに鬼北町の将来を担う青少年の人材育成を目的とした海外研修の出発式が8月18日、鬼北町中央公民館前で行われました。

この事業は、平成5年に故山口恒則氏から受けた寄附金を基金として行っているもので、これまでで中学生48人が研修に参加しています。



出発式には、日吉中学校と広見中学校の生徒6人とその保護者、学校と町の関係者らが出席。浦田賢三副町長が「研修が皆さんの将来にとって大きな力になるよう、いろいろなことに思い切って挑戦し、かばんいっばいに思い出と感動を詰めて帰ってきてください」と研修生を激励。これに対し、研修生代表の谷口茉佑さん(日吉中学校3年)が「研修の機会を与えてくださった皆さんや親への感謝を忘れずに、10日間の研修を意義あるものにしてきます」とあいさつし、現地での活動に意欲を見せていました。

研修は、オーストラリアのブリスベン市を中心に実施され、ホームステイや学校研修を通じて、現地の方や他国の研修生と交流を深め、外国の文化や生活様式などを学びます。

研修内容や参加者の体験談は次号で紹介します。

高齢者福祉に貢献、山下健一さんに県知事表彰

◎高齢者福祉関係功労者県知事表彰

9月4日、松山市で開催された第48回愛媛県老人クラブ大会において、山下



健一さん(内深田)が県知事表彰を受けられました。山下さんは、大本クラブ

会長、老人クラブ好藤支部支部長を歴任し、平成17年に鬼北町老人クラブ連合会会長に就任。高齢者の健康増進を図るため、クロツケの普及に努めるほか、公

共施設等の清掃や独居老人世帯の訪問、世代間交流など幅広い活動を実践されています。今回の表彰は、これらの功績が認められたものです。

また、8月7日に高知県で行われた第50回四国老人クラブ大会では、老人クラブの発展に貢献したとして表彰を受けられています。

土俵際の激しい攻防に大声援

◎六地藏奉納相撲大会

近隣市町の力自慢が参加した六地藏奉納相撲大会が8月24日、日吉武左衛門広場で開催されました。大会

には町内外から14チーム約80人が出場し、個人の部と団体の部で熱戦を展開。保育園児のかわいらしい取り組みから、相撲クラブによるプロ顔負けの迫力ある取り組みまで、見応え十分の試合が続き、土俵際の激しい攻防や豪快な投げ技などが決まるたびに、観客から大きな歓声と拍手が送られました。

主な結果は次のとおりです。

【小学校対抗戦】

①愛治小②日吉小③近永小

【分館対抗戦】

①下鍵山②日向谷

【市町対抗戦】

①野村②宇和島



近隣市町の力自慢が参加した六地藏奉納相撲大会が8月24日、日吉武左衛門広場で開催されました。大会には町内外から14チーム約80人が出場し、個人の部と団体の部で熱戦を展開。保育園児のかわいらしい取り組みから、相撲クラブによるプロ顔負けの迫力ある取り組みまで、見応え十分の試合が続き、土俵際の激しい